

食品中の放射性物質に関わる行政の調査結果及び関連情報
(6月25日に公表された情報)

1. 行政による放射性物質検査

福島第一原発事故が発生して以降、行政による検査が継続的におこなわれています。6月25日に公表された結果によると、621件(福島県は9件)の検査がおこなわれていました。基準を超えたものは2件でした。(厚生労働省のホームページから報告されている放射性物質検査の結果の概略から)。以下特徴についてまとめています。

(1)検査について基準を超えたものについて

①宮城県で採取した山菜について、基準値を超える放射性セシウムが検出された旨公表されました。

ア. 宮城県七ヶ宿町:コシアブラ(310,130 ベクレル/キログラム)

宮城県の上記地域で採取された山菜については出荷及び食用の自粛の要請が出されているため市中には出回っていません。

2. 検査結果について

(1)検査結果の概要

表1. 福島県で採取された沿岸魚の検査結果の傾向(2013年3月26日の検査結果とここ最近の検査結果の比較)

検査結果判明日	検出限界以下となった割合	基準は超えていないが、何らかの数値が検出された割合	基準を超えた割合
2013年3月26日	52.6%	41.4%	5.9%
2019年 3月22日	100%	0.0%	0.0%
2019年 3月29日	100%	0.0%	0.0%
2019年 4月19日	100%	0.0%	0.0%
2019年 5月17日	100%	0.0%	0.0%
2019年 9月20日	99.2%	0.85%	0.0%
2019年 9月27日	99.8%	0.84%	0.0%
2019年10月 4日	100%	0.0%	0.0%
2019年10月11日	100%	0.0%	0.0%
2019年10月18日	100%	0.0%	0.0%
2019年10月25日	100%	0.0%	0.0%
2019年11月 1日	100%	0.0%	0.0%
2019年11月15日	100%	0.0%	0.0%
2019年11月22日	100%	0.0%	0.0%
2019年12月 6日	100%	0.0%	0.0%
2020年 1月10日	100%	0.0%	0.0%
2020年 1月31日	100%	0.0%	0.0%
2020年 2月10日	100%	0.0%	0.0%
2020年 2月21日	100%	0.0%	0.0%
2020年 2月27日	100%	0.0%	0.0%
2020年 4月13日	100%	0.0%	0.0%
2020年 4月27日	100%	0.0%	0.0%
2020年 6月12日	100%	0.49%	0.0%

今回の報告で福島沖の水産物(沿岸魚)の報告はありませんでした。

(2)京都の空間線量(6月15日～6月28日)

京都市の空間線量は(16.9メートル地点)1メートルの高さの推計値は 0.055～0.063 マイクロシーベルト/1時間となっています。福島市の空間線量は(2.5メートル地点)報告がありませんでした(台風による業務停止のため欠測)。

特段の変化はなく、平常値です。

3. 関連情報

(1)福島第1原発の処理水処分法 決定時期、秋以降にずれ込みへ(河北新報より)

東京電力福島第1原発の放射性物質トリチウムを含む処理水を巡り、処分方法の決定時期が今秋以降にずれ込む可能性が高いことが24日、複数の関係者への取材で分かった。当初は早ければ今夏にも決まる見込みだったが、新型コロナウイルス感染拡大で意見集約が難航した。

構内で保管中の処理水は2022年夏にタンクが満杯となる見込み。処分は準備に2年程度を要することから、今夏の処分方法決定が地元自治体を含めた共通認識となっている。

準備の2年には地元との折衝、許認可などが含まれる。廃炉を所管する資源エネルギー庁によると、原子力規制委員会の認可手続きにかかる期間の見積もりには余裕があり、数カ月程度短縮できる余地が残る。

同庁の木野正登廃炉・汚染水対策官は「今夏が必ずしも期限ではない。スケジュールありきではなく関係者の理解を得るべく努力を続ける」と述べた。

国は海洋か大気への放出を現実的な選択肢とする小委員会の報告を受け、4月から自治体や業界団体の意見聴取を重ねている。新型コロナの影響で調整が難航し、5月11日の第3回を最後に開催されていない。

以上